

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公開番号】特開2006-172306(P2006-172306A)

【公開日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2006-025

【出願番号】特願2004-366412(P2004-366412)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/21 (2006.01)

B 4 1 J 21/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/21 5 6 6 Q

B 4 1 J 21/00 Z

G 0 6 F 3/12 C

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月12日(2007.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表紙付き製本処理が可能な画像形成装置に出力すべき印刷ジョブを生成するプリンタドライバを有する情報処理装置において、

前記プリンタドライバにより提供される設定ウィンドウを用いて入力された指示に従って、印刷属性を設定する手段と、

アプリケーションによって出力される印刷データから前記表紙により包まれる中身に配置されるページ数をカウントする手段と、

前記カウントされた前記中身に配置されるページ数と、前記設定された印刷属性とを用いて、前記中身を構成する紙の枚数を算出する手段と、

前記算出された紙の枚数に基づいて背表紙幅を算出する手段と、

前記表紙の中央を、前記算出された背表紙幅を有する背表紙の領域として決定し、前記背表紙の領域を除いた領域を、表表紙の領域及び裏表紙の領域として決定する手段と、

前記決定された背表紙の領域に背表紙のデータを印刷し、前記表表紙の領域に表表紙のデータを印刷し、前記裏表紙の領域に裏表紙のデータを印刷する印刷ジョブを生成する手段と

を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

複数種類の紙の厚さを記憶する手段を更に有し、

前記印刷属性を設定する手段は、プリンタドライバにより提供される設定ウィンドウを用いて入力された指示に従って、前記中身に使用される紙の種類を設定し、

前記背表紙幅を算出する手段は、前記設定された印刷属性に含まれる紙の種類の厚さを前記紙の厚さを記憶する手段から取得し、取得した紙の厚さと、前記算出された紙の枚数とを乗算して背表紙幅を算出することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記印刷属性を設定する手段は、前記印刷属性として、前記表紙付き製本および両面印

刷モード、又は、前記表紙付き製本および片面印刷モードのいずれか一方を設定することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記表紙に使用される紙は、少なくとも、中身を構成する紙サイズと同一のサイズの表紙の領域と、当該同一のサイズの裏表紙の領域と、背表紙の領域とを連結してなるサイズであることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記アプリケーションによって出力される印刷データは、表紙に配置される表紙印刷データと中身印刷データとから構成され、

前記印刷ジョブを生成する手段は、前記表紙印刷データに含まれる表紙印刷データが表紙の領域に割り当てられ、前記裏表紙印刷データが裏表紙の領域に割り当てられ、前記背表紙印刷データが背表紙の領域に割り当てられた印刷ジョブを生成することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

表紙付き製本処理が可能な画像形成装置に出力すべき印刷ジョブを生成するプリンタドライバを有する情報処理装置において、

前記プリンタドライバにより提供される設定ウィンドウを用いて入力された指示に従って、印刷属性と前記表紙により包まれる中身に配置されるページ数とを設定する手段と、

前記設定された前記中身に配置されるページ数と前記印刷属性とを用いて、前記中身を構成する紙の枚数を算出する手段と、

前記算出された紙の枚数に基づいて背表紙幅を算出する手段と、

前記表紙の中央を、前記算出された背表紙幅を有する背表紙の領域として決定し、前記背表紙の領域を除いた領域を、表紙の領域及び裏表紙の領域として決定する手段と、

前記決定された背表紙の領域に背表紙のデータを印刷し、前記表紙の領域に表紙のデータを印刷し、前記裏表紙の領域に裏表紙のデータを印刷する印刷ジョブを生成する手段と

を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 7】

表紙付き製本処理が可能な画像形成装置に出力すべき印刷ジョブを生成するプリンタドライバを有する情報処理装置が実行する情報処理方法において、

前記プリンタドライバにより提供される設定ウィンドウを用いて入力された指示に従って、印刷属性を設定するステップと、

アプリケーションによって出力される印刷データから前記表紙により包まれる中身に配置されるページ数をカウントするステップと、

前記カウントされた前記中身に配置されるページ数と、前記設定された印刷属性とを用いて、前記中身を構成する紙の枚数を算出するステップと、

前記算出された紙の枚数に基づいて背表紙幅を算出するステップと、

前記表紙の中央を、前記算出された背表紙幅を有する背表紙の領域として決定し、前記背表紙の領域を除いた領域を、表紙の領域及び裏表紙の領域として決定するステップと

、
前記決定された背表紙の領域に背表紙のデータを印刷し、前記表紙の領域に表紙のデータを印刷し、前記裏表紙の領域に裏表紙のデータを印刷する印刷ジョブを生成するステップと

を含むことを特徴とする情報処理方法。

【請求項 8】

前記情報処理装置は、複数種類の紙の厚さを記憶する手段を有し、

前記印刷属性を設定するステップは、プリンタドライバにより提供される設定ウィンドウを用いて入力された指示に従って、前記中身に使用される紙の種類を設定することを含み、

前記背表紙幅を算出するステップは、前記設定された印刷属性に含まれる紙の種類の厚

さを前記紙の厚さを記憶する手段から取得し、取得した紙の厚さと、前記算出された紙の枚数とを乗算して背表紙幅を算出することを含むことを特徴とする請求項 7 に記載の情報処理方法。

【請求項 9】

前記印刷属性を設定するステップは、前記印刷属性として、前記表紙付き製本および両面印刷モード、又は、前記表紙付き製本および片面印刷モードのいずれか一方を設定することを含むことを特徴とする請求項 7 または 8 に記載の情報処理方法。

【請求項 10】

前記表紙に使用される紙は、少なくとも、中身を構成する紙サイズと同一のサイズの表紙の領域と、当該同一のサイズの裏表紙の領域と、背表紙の領域とを連結してなるサイズであることを特徴とする請求項 7 乃至 9 のいずれか 1 項に記載の情報処理方法。

【請求項 11】

前記アプリケーションによって出力される印刷データは、表紙に配置される表紙印刷データと中身印刷データとから構成され、

前記印刷ジョブを生成するステップは、前記表紙印刷データに含まれる表紙印刷データが表紙の領域に割り当てられ、前記裏表紙印刷データが裏表紙の領域に割り当てられ、前記背表紙印刷データが背表紙の領域に割り当てられた印刷ジョブを生成することを含むことを特徴とする請求項 7 乃至 10 のいずれか 1 項に記載の情報処理方法。

【請求項 12】

表紙付き製本処理が可能な画像形成装置に出力すべき印刷ジョブを生成するプリンタドライバを有する情報処理装置が実行する情報処理方法において、

前記プリンタドライバにより提供される設定ウィンドウを用いて入力された指示に従って、印刷属性と前記表紙により包まれる中身に配置されるページ数とを設定するステップと、

前記設定された前記中身に配置されるページ数と前記印刷属性とを用いて、前記中身を構成する紙の枚数を算出するステップと、

前記算出された紙の枚数に基づいて背表紙幅を算出するステップと、

前記表紙の中央を、前記算出された背表紙幅を有する背表紙の領域として決定し、前記背表紙の領域を除いた領域を、表紙の領域及び裏表紙の領域として決定するステップと

、前記決定された背表紙の領域に背表紙のデータを印刷し、前記表紙の領域に表紙のデータを印刷し、前記裏表紙の領域に裏表紙のデータを印刷する印刷ジョブを生成するステップと

を含むことを特徴とする情報処理方法。

【請求項 13】

コンピュータに、請求項 7 乃至 12 のいずれか 1 項に記載の情報処理方法を実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の情報処理装置は、表紙付き製本処理が可能な画像形成装置に出力すべき印刷ジョブを生成するプリンタドライバを有する情報処理装置において、プリンタドライバにより提供される設定ウィンドウを用いて入力された指示に従って、印刷属性を設定する手段と、アプリケーションによって出力される印刷データから表紙により包まれる中身に配置されるページ数をカウントする手段と、カウントされた中身に配置されるページ数と、設定された印刷属性とを用いて、中身を構成する紙の枚数を算出する手段と、算出された紙の枚数に基づいて背表紙幅を算出する手段と、表紙の中央を、算出された背表紙幅を有す

る背表紙の領域として決定し、背表紙の領域を除いた領域を、表表紙の領域及び裏表紙の領域として決定する手段と、決定された背表紙の領域に背表紙のデータを印刷し、表表紙の領域に表表紙のデータを印刷し、裏表紙の領域に裏表紙のデータを印刷する印刷ジョブを生成する手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の情報処理装置は、上記の情報処理装置において、複数種類の紙の厚さを記憶する手段を更に有し、印刷属性を設定する手段が、プリンタドライバにより提供される設定ウィンドウを用いて入力された指示に従って、中身に使用される紙の種類を設定し、背表紙幅を算出する手段が、設定された印刷属性に含まれる紙の種類の厚さを紙の厚さを記憶する手段から取得し、取得した紙の厚さと、算出された紙の枚数とを乗算して背表紙幅を算出することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の情報処理装置は、上記の情報処理装置において、印刷属性を設定する手段が、印刷属性として、表紙付き製本および両面印刷モード、又は、表紙付き製本および片面印刷モードのいずれか一方を設定することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明の情報処理装置は、上記の情報処理装置において、表紙に使用される紙が、少なくとも、中身を構成する紙サイズと同一のサイズの表表紙の領域と、当該同一のサイズの裏表紙の領域と、背表紙の領域とを連結してなるサイズであることを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明の情報処理装置は、上記の情報処理装置において、アプリケーションによって出力される印刷データが、表紙に配置される表紙印刷データと中身印刷データとから構成され、印刷ジョブを生成する手段が、表紙印刷データに含まれる表表紙印刷データが表表紙の領域に割り当てられ、裏表紙印刷データが裏表紙の領域に割り当てられ、背表紙印刷データが背表紙の領域に割り当てられた印刷ジョブを生成することを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

本発明の情報処理装置は、表紙付き製本処理が可能な画像形成装置に出力すべき印刷ジョブを生成するプリンタドライバを有する情報処理装置において、プリンタドライバにより提供される設定ウィンドウを用いて入力された指示に従って、印刷属性と表紙により包まれる中身に配置されるページ数とを設定する手段と、設定された中身に配置されるページ数と印刷属性とを用いて、中身を構成する紙の枚数を算出する手段と、算出された紙の枚数に基づいて背表紙幅を算出する手段と、表紙の中央を、算出された背表紙幅を有する背表紙の領域として決定し、背表紙の領域を除いた領域を、表表紙の領域及び裏表紙の領域として決定する手段と、決定された背表紙の領域に背表紙のデータを印刷し、表表紙の領域に表表紙のデータを印刷し、裏表紙の領域に裏表紙のデータを印刷する印刷ジョブを生成する手段とを備えたことを特徴とする。

【 手続補正 8 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 5

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 5 】

本発明の情報処理方法は、表紙付き製本処理が可能な画像形成装置に出力すべき印刷ジョブを生成するプリンタドライバを有する情報処理装置が実行する情報処理方法において、プリンタドライバにより提供される設定ウィンドウを用いて入力された指示に従って、印刷属性を設定するステップと、アプリケーションによって出力される印刷データから表紙により包まれる中身に配置されるページ数をカウントするステップと、カウントされた中身に配置されるページ数と、設定された印刷属性とを用いて、中身を構成する紙の枚数を算出するステップと、算出された紙の枚数に基づいて背表紙幅を算出するステップと、表紙の中央を、算出された背表紙幅を有する背表紙の領域として決定し、背表紙の領域を除いた領域を、表表紙の領域及び裏表紙の領域として決定するステップと、決定された背表紙の領域に背表紙のデータを印刷し、表表紙の領域に表表紙のデータを印刷し、裏表紙の領域に裏表紙のデータを印刷する印刷ジョブを生成するステップとを含むことを特徴とする。

【 手続補正 9 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 6

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 6 】

本発明の情報処理方法は、上記の情報処理方法において、情報処理装置が、複数種類の紙の厚さを記憶する手段を有し、印刷属性を設定するステップが、プリンタドライバにより提供される設定ウィンドウを用いて入力された指示に従って、中身に使用される紙の種類を設定することを含み、背表紙幅を算出するステップが、設定された印刷属性に含まれる紙の種類の厚さを紙の厚さを記憶する手段から取得し、取得した紙の厚さと、算出された紙の枚数とを乗算して背表紙幅を算出することを含むことを特徴とする。

【 手続補正 10 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 7

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 7 】

本発明の情報処理方法は、上記の情報処理方法において、印刷属性を設定するステップが、印刷属性として、表紙付き製本および両面印刷モード、又は、表紙付き製本および片面印刷モードのいずれか一方を設定することを含むことを特徴とする。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

本発明の情報処理方法は、上記の情報処理方法において、表紙に使用される紙は、少なくとも、中身を構成する紙サイズと同一のサイズの表表紙の領域と、当該同一のサイズの裏表紙の領域と、背表紙の領域とを連結してなるサイズであることを特徴とする。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

本発明の情報処理方法は、上記の情報処理方法において、アプリケーションによって出力される印刷データが、表紙に配置される表紙印刷データと中身印刷データとから構成され、印刷ジョブを生成するステップが、表紙印刷データに含まれる表表紙印刷データが表表紙の領域に割り当てられ、裏表紙印刷データが裏表紙の領域に割り当てられ、背表紙印刷データが背表紙の領域に割り当てられた印刷ジョブを生成することを含むことを特徴とする。

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

本発明の情報処理方法は、表紙付き製本処理が可能な画像形成装置に出力すべき印刷ジョブを生成するプリンタドライバを有する情報処理装置が実行する情報処理方法において、プリンタドライバにより提供される設定ウィンドウを用いて入力された指示に従って、印刷属性と表紙により包まれる中身に配置されるページ数とを設定するステップと、設定された中身に配置されるページ数と印刷属性とを用いて、中身を構成する紙の枚数を算出するステップと、算出された紙の枚数に基づいて背表紙幅を算出するステップと、表紙の中央を、算出された背表紙幅を有する背表紙の領域として決定し、背表紙の領域を除いた領域を、表表紙の領域及び裏表紙の領域として決定するステップと、決定された背表紙の領域に背表紙のデータを印刷し、表表紙の領域に表表紙のデータを印刷し、裏表紙の領域に裏表紙のデータを印刷する印刷ジョブを生成するステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

本発明のプログラムは、コンピュータに、上記の情報処理方法を実行させることを特徴とする。

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

【補正の内容】